



中の
川よ
荒だ

青い雲



教育目標

「めあてをもち 自分で考え ねばり強くやり抜こう」

笑顔と希望にあふれる学校づくり

村上市立荒川中学校

令和6年度 第4号

令和6年7月12日発行

夢をもち 夢を追う 校長 西村 諭

早いもので一学期が終わりに近づいております。生徒は友だちとの触れ合いを通して、学習や諸活動等に取り組み、心身ともに成長しております。保護者、地域の皆様からは、常に教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

7月25日からは夏休みが始まります。生徒の生活の大部分が、家庭や地域となります。家庭、地域、学校が互いに手を携えて、生徒が安全で規則正しい生活が送れるように連携・協働して参りましょう。

さて、6月に開催された下越地区総合体育大会において、選手一人一人はベストを尽くして戦いました。7月1日に、その大会報告会と、県大会・下越吹奏楽コンクールの激励会が行われました。各部の代表生徒からの結果報告に対して健闘を讃え合ったり、県大会へと駒を進めた選手やチームと喜びを分かち合ったりしました。

県大会・下越吹奏楽コンクールの激励会后、全校生徒に向けて「夢をもち、夢を追う」というテーマでミニ講話を行いました。概要をご紹介します。

「下越大会で勝ちたい、優勝したい」という夢や願いを、誰もがもっていたと思います。しかし大会は勝負の場所です。勝つ人と負ける人がいて、夢は叶わないこともあります。それでも夢をもち、夢を

追いつけることの意義は何でしょうか。

私はその答えの一つが、夢をもち、夢を追うことで、心ときめき元気が湧いてくることだと思っています。そして、夢の達成に向けて、ひたむきに努力する経験が、とても大切だと思っています。努力した経験は、必ずプラスになります。

私たちは夢を叶えるために努力をしていますが、実は、努力して自分自身を伸ばすために、夢があるのではないかと思うことがあります。勝てば当然うれしいです。しかし、練習でコツコツと努力を積み重ねたり、勝利に向けて力を振り絞ったりしているときこそ、人は一段と輝くのではないのでしょうか。

そして、本当に心の強い人は、一つのことに真剣に向き合い、努力した人のことだと思おうのです。皆さんはどのように考えますか。

皆さんには、これからも夢を見つけて欲しいです。夢は大きくても小さくてもかまいません。そして、その実現に向けて精一杯努力し、輝いて欲しいと思っています。

*日々の学校生活を発信するブログを始めました。QRコードを読み取り「荒川中ブログ」をご覧ください。

